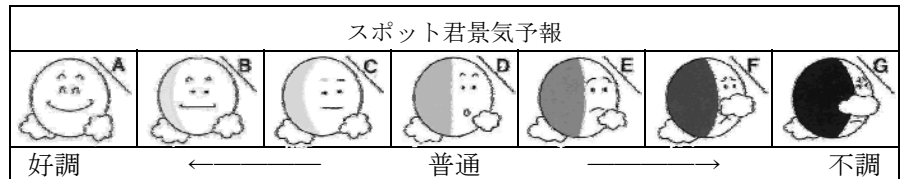


2. 目黒区内中小企業の景況（平成 25 年 4～6 月期）

（1）今期の特徴点



製造業



製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 16.8$ で前期比 13.0 ポイント増と水面下ながら大きく改善した。売上額は $\Delta 16.3$ で 9.6 ポイント増、受注残は $\Delta 12.0$ で 9.3 ポイント増、収益は $\Delta 17.7$ で 6.8 ポイント増と、いずれも大きく改善した。今期の製造業は、売上額、受注残、収益の全てにおいて 2 期連続で大きく持ち直し、業況も 2 期連続で大きく持ち直し厳しさが和らいだ。来期の見通しについては、売上額、受注残はともに横ばい、収益がやや改善し、業況はやや悪化の見込みで、水面下に変化はない。

価格動向については、販売価格は $\Delta 13.8$ で 5.3 ポイント減とわずかに低下し、原材料価格は 11.7 で 3.3 ポイント増とやや上昇幅が大きくなった。在庫は $\Delta 3.6$ で 0.3 ポイント減と前期並の不足感が続いた。来期の見通しについては、販売価格はやや下降が和らぎ、原材料価格は上昇が大きく弱まり、在庫は今期並の不足感が続く見込み。

資金繰りは $\Delta 16.6$ と 11.3 ポイント増と厳しさが大きく和らいだ。借入難易度は $\Delta 9.0$ と 8.1 ポイント増と大きく改善し楽になった。借入をした企業は 15.8%で 4.2 ポイント増とやや増加、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 6.1 %で 4.0 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期並で、借入をする企業は大きく減少するが、設備投資を実施する企業は今期並の見込み。

経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 59.4%となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」で 43.6%、3 位は「利幅の縮小」で 32.7%、上位 3 位までに順位に変動はなかった。

重点経営施策では、1 位は「経費を節減する」で 62.4%となった。次いで 2 位は「販路を広げる」で 57.4%、3 位は「新製品・技術を開発する」で 17.8%となった。

卸売業



卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 1.9$ で 33.8 ポイント増と悪化幅は非常に大きく縮小した。売上額は 14.1 で 40.3 ポイント増、収益は 7.0 で 35.8 ポイント増とともに非常に大きく改善した。今期の卸売業は、売上額、収益ともに水面下を脱し、業況はまだ水面下ながらも明るさが見えた。来期の見通しについては、売上額は大きく後退し、収益は再び水面下となり、業況は今期並となる見込み。

価格動向については、販売価格は 4.2 で 2.0 ポイント増とやや改善し、仕入価格は 24.0 で 10.6 ポイント増と 2 期連続で大きく上昇した。在庫は 3.1 で 0.5 ポイント減と前期並の過剰感であった。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格ともにやや上昇が弱まり、在庫はやや過剰で推移する見込み。

資金繰りは $\Delta 10.1$ で 8.0 ポイント増と大幅に厳しさが和らいだ。借入難易度は 17.4 で 22.4 ポイント増と非常に楽になり、今期借入をした企業は 25.0%で 13.0 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 7.1%と前期並となった。来期の見通しについては、資金繰りはやや改善し、借入をする企業はやや減少する見込み。設備投資をする企業については、今期並の見込み。

経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 50.0%となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」で 39.3%、3 位は「利幅の縮小」で 32.1%となった。

重点経営施策では、1 位は「販路を広げる」で 57.1%となった。次いで 2 位は「経費を節減する」で 42.9%、3 位は「情報力を強化する」で 32.1%、4 位は「品揃えを充実する」で 17.9%となった。

小 売 業



小売業の主要指標をみると、今期の業況は $\Delta 17.0$ で8.6ポイント増と大きく改善した。売上額は $\Delta 8.7$ で15.5ポイント増、収益は $\Delta 15.8$ で9.1ポイント増と、ともに大きく改善した。今期の小売業は、売上額、収益ともに減少幅が縮小し、業況は大きく持ち直した。来期の見通しについては、売上額、収益のいずれも大幅に悪化し、業況は大きく低迷する見込み。

価格動向については、販売価格は $\Delta 7.1$ で4.3ポイント減とやや下降した。仕入価格は7.3で6.9ポイント減と上昇幅が大幅に縮小した。在庫は9.0で6.5ポイント増と過剰感が増した。来期の見通しについては、販売価格は今期並みの下降幅で、仕入価格も今期並の上昇が続き、在庫は今期同様の過剰感が続く見込み。

資金繰りは $\Delta 11.4$ で9.0ポイント増と厳しさがかなり和らいだ。借入難易度は11.2で1.8ポイント増加し、前期並のやや楽の状況が続き、今期に借入をした企業は8.6%で4.3ポイント増加した。

設備投資をした企業は5.6%であった。来期の見通しについては、資金繰りはかなり厳しさが増し、借入をする企業は10.5%と今期並で、設備投資をする企業は7.3%と今期並となる見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で59.3%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で37.3%、3位は「大型店との競争の激化」で27.1%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で45.8%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で32.2%、3位は「売れ筋商品を取扱う」で22.0%となった。

サービ ス 業



サービス業の主要指標をみると、今期の業況は $\Delta 15.9$ で12.3ポイント増と大きく持ち直した。

売上額は $\Delta 9.0$ で15.3ポイント増、収益は $\Delta 11.6$ で10.6ポイント増と、ともに大きく改善した。今期のサービス業は、売上額、収益のいずれも厳しさが和らぎ、業況も水面下ながら改善した。来期の見通しについては、売上額、収益ともに減少幅が拡大し、業況は水面下ながらもやや改善する見込み。

料金価格は $\Delta 3.6$ で3.6ポイント増と下降幅は縮小し、材料価格は11.7で1.2ポイント増と前期並となった。来期の見通しとしては、料金価格は前期並、材料価格は上昇がやや強まる見込み。

資金繰りについては、 $\Delta 12.6$ で8.6ポイント増と大幅に厳しさが和らいだ。借入難易度は $\Delta 7.3$ で5.6ポイント増加し、大きく緩和された。借入をした企業は10.5%で5.7ポイント増加した。設備投資をした企業は前期2.4%から12.7%となった。来期の見通しについては、資金繰りはやや改善し、設備投資をする企業は今期並で、借入をする企業はやや増加する見込み。

経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で53.2%、2位は「売上の停滞・減少」で43.5%、3位は「利幅の縮小」で12.9%、4位は「料金の値下げ要請」「人手不足」が9.7%で並んだ。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で46.8%、2位は「販路を広げる」で41.9%、3位は「宣伝・広告を強化する」で24.2%となった。

建設業



建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 15.4$ で18.1ポイント増と大幅に改善した。売上額は0.3で13.4ポイント増と大きく好転し、収益は $\Delta 11.7$ で15.5ポイント増、施工高は $\Delta 2.7$ で20.3ポイント増、受注残は $\Delta 2.8$ で11.1ポイント増といずれも水面下ながら大きく改善した。来期の見通しについては、売上額はやや改善し、施工高は大きく改善、受注残、収益はいずれも悪化幅がやや縮小し、業況は大きく持ち直し、プラスに転じる見込み。

請負価格は $\Delta 2.1$ で9.0ポイント増と水面下ながらも大きく改善し、材料価格は23.0で11.2ポイント増と大きく上昇した。在庫については1.7で15.1ポイント増と品薄から過剰に転じた。来期の見通しについては、請負価格は水面下を脱し、材料価格はやや上昇が弱まる見込み。

資金繰りについては、 $\Delta 15.7$ で6.6ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。借入難易度は $\Delta 10.8$ で5.4ポイント増加し、今期に借入をした企業は23.8%で5.4ポイント増加した。設備投資については、実施した企業は9.5%で6.9ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りはかなり厳しさが和らぐが、借入をする企業はやや減少すると見られる。設備投資を実施する企業は4.8%に減少する見込み。

経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で57.8%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で48.9%、3位は「利幅の縮小」で26.7%、4位は「材料価格の上昇」で20.0%となった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で66.7%となった。次いで2位は「販路を広げる」で64.4%、3位は「技術力を高める」「情報力を強化する」が24.4%で並んだ。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

